

2008年VMS夏期集中プログラム

企業革新・第二創業コースカリキュラム

S…両コース共通の特別講義。6階大ホールにて行います。
 E…英語で行う講義（逐次通訳がつかます）。
 SE…英語で行う両コース共通の特別講義（逐次通訳が付き、6階大ホールにて行います）。
 Biz…80分授業2コマずつを3回費やして「ビジネスプラン演習」を行う。演習であるので受講生全員の積極的な参画が必要である。
 無印…コース別に各講義室で日本語で行う講義。

カリキュラムは変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

1限	9:30	-	10:50
2限	11:10	-	12:30
- Lunch Time -			
3限	13:40	-	15:00
4限	15:20	-	16:40
5限	17:00	-	18:20
Party	18:40	-	

Aug.04
(MON)

9:30
|
19:40

1. 「企業改革と新ビジネス創出・発展の知恵」 児玉 充晴 …(S)
 マンネリ化した企業風土からの脱却を目指した、社員の意識改革の上手な進め方と、それに基づく新ビジネスの成功要素を、体系立てて説明し、企業にとってもっとも重要な利益獲得の知恵を総合的に講義する。
2. 「ゼロエミッション -ごみゼロ社会は実現できるか-」 行本 正雄 …(S)
 地球温暖化と資源枯渇の問題は、将来の我々の生活だけでなく現在の生活に対しても大きな影響を与えつつある。二酸化炭素削減（エネルギー効率の向上）と廃棄物ゼロ（資源の有効利用）を目指す「ゼロエミッション」活動に取り組んできた専門家が日本の現状と将来展望を語る。

□ ランチ

- 3.4. 「BizPlan 演習1」 児玉 充晴 …(Biz)
 利益を生み出す原動力は、社員の行動の原点である”人の心”である。これをどうマネジメントして利益最大化をはかるか？のノウハウを、“中小企業等400社から抽出した事業成功の秘訣”に基づいて解説する。この中では、コミュニケーション手法やIT技術の利用法まで言及して理解の幅を広げる。
 ビジネスを成功させる非論理要素については、ケーススタディを用いて4人のチームでの討論により理解を深める。
 これらのノウハウの集大成であるビジネスプランにおいて考慮すべき構成要素の全体像を示す。これに基づき、皆さんが持ち込んだビジネスシーズをビジネスプランに仕立ててブラッシュアップし、指名された方から発表していただく。
5. 「好機の認識、評価、そして企業化の実現：新事業を独立させるには」 Richard Dasher …(S)
 シリコンバレーでは毎日おびただしい数の新規事業のアイデアが生まれ、その内のいくつかは激しい淘汰を経て新産業へと育っている。それらの起業に直接関わった経験から、好機の認識、評価、そして企業化の実現について語る。

- ウェルカム&スタンフォード大学パーティ
 ダッシャー先生を囲んだ、スタンフォード大学同窓会との共同のウェルカムパーティ。受講生同士の親睦を図るだけでなく、スタンフォード大学とのネットワークを作る。

Aug.05
(TUE)

9:30
|
18:20

1. 「新興市場の変遷とベンチャー企業の成長戦略」 三吉野 健滋
 講師が経営するDDSをケーススタディに、ITバブル前から現在に至る新興株式市場の変化をたどり、ベンチャー企業のとるべき事業戦略を考える。
2. 「日本企業にも使えるスタンフォードのケーススタディ」 Richard Dasher …(S)
 米国ビジネススクールではケーススタディ（事例研究）を通じて成功・失敗要因を探り、どのような局面にも動じない仮想体験をする。珠玉の例により、日本企業にも使えるスタンフォードのケーススタディを体験する。
- 3.4. 「BizPlan 演習2」 児玉 充晴 …(Biz)
 BizPlan 演習1の継続。
5. 「粉末状シリコンICを利用した電子タグ、日立の事業化責任者が市場開拓の勘所を語る」 井村 亮 …(S)
 既存のビジネスモデルを覆し新しいライフスタイルを創造するとまで言われ始めた無線認識IC(RFID)、ユビキタス社会実現に向けた様々な取組みと Entrepreneurship、そして最新の実用例を紹介。

Aug.06
(WED)

9:30
|
18:20

1. 「顧客理解とエレベータ・ピッチ」 Jose Pacheco …(SE)
スタートアップ企業における顧客理解の重要性とその手法。グローバルプレーヤーへの売り込み。自社製品と技術を顧客企業の言葉で納得させる凝縮のプレゼンテーションを学ぶ。
2. 「テレマーケティング起業で東証マザーズ上場」 仲吉 昭治
自社開発の全自動テレマーケティングシステムでテレマーケティングの低価格化を実現。技術開発から東証マザーズ上場までの道のりを語る。
3. 「第2の創業：アナログ編集業からコンテンツ・ベンチャーへの転身」 赤崎 まき子
紙媒体の編集業から、一念発起。データベース、WEBコンテンツ、ITSの交通情報サービス共同研究開発などを手がけるコンテンツ・ベンチャーへ。マルチなコンテンツ・プロデューサーとして独自テーマを追求する経営者が、起業を振り返り、新分野開拓を支えたものは何か？を語る。
- 4.5. 「BizPlan 演習3」 児玉 充晴 …(Biz)
BizPlan 演習1・2の継続。

Aug.07
(THU)

9:30
|
19:30

1. 「中国における技術立脚新興企業の挑戦」 Lin Xu …(SE)
この講義は中国における技術立脚新興企業の挑戦を中心テーマにしている。更に多国籍企業がその技術的優位性を利用して、巨大な中国市場を開拓しようとしているか、また技術蓄積の薄い地元企業がどのようにして対抗しようとしているかを語る。変化の激しい分野に於いて多くの企業がしのぎを削っているこの現状を知ることが中国市場を知る近道である。
 2. 「新事業の成功と全員顧客志向経営」 小野 桂之介 …(S)
新事業を成功させるには、既存の競争相手に対する明確な差別化を実現して顧客に選ばれる魅力を持たなければならない。それには、全部門が差別化戦略を共有し、全員が顧客志向の姿勢で仕事に取り組む必要がある。
 3. 「？つの大学発ベンチャーの起業とその遷移」 梅崎 太造 …(S)
平成元年より音声認識技術を武器に発話訓練機、指紋照合装置、および各種精密検査・計測装置を連携企業と共同で開発・実用化した。これまでの経過の中で、関係企業の業種の多様化に対応するために、現在まで、？つの大学発ベンチャーを起業した。今回は、研究テーマと起業家としての興味がどのように移り変わって来たかについて述べる。
 4. 「自社コアコンピタンスの確立・早期保護・活用」 山本 尚
自社のコア技術を再定義、強化し改正実用新案法等を利用して、早期に保護する方策を解説。弁理士事務所の豊富な経験から語る実践的処方方を語る。
- VMS & MIT パーティ
VMS 同窓生と MIT 同窓生を招いたオープンパーティ。受講生同士だけでなく国際的なネットワーク作りのチャンス。また受講生が持ち寄り、この講座を通じてブラッシュアップしたビジネスプランを「エレベータピッチ」形式で披露、優秀案件を表彰。

Aug.08
(FRI)

9:30
|
15:15

1. 「技術創業・失敗させない10の方策」 小田島 博道
新規技術を基とした創業には、常に数多くの不確実性に直面する。マーケティングにおける着眼点など事業を成功へと導くキーポイントを修得し、次々に発生する問題点に迅速的確に意思決定できる能力を身に付け、芽が出た技術をもとにグローバル・オンリーワンビジネスを育て上げよう。
 2. 「ベンチャー経営企業の可能性」 森岡 孝文
長年の金融機関勤務経験から金融機関の行員が、ベンチャー企業をどのように評価し、見ているのかを語る。さらに、ビジネスモデル分析の視点から、新規創業、自社ビジネスの可能性を考察する。
 3. 「経営と技術の接点 ～無限の好奇心・努力・情熱・友情(ネットワーク)～」 筒井 宣政 …(S)
次女の心臓病を契機に医療の世界に進み、利益追求ではなく「一人でも多くの命を救う」を理念に東海メディカルプロダクツを設立。その経験の中にある経営におけるヒントを見つけて欲しい。
- 修了式

2008年VMS夏期集中プログラム

エグゼクティブ事業創造コースカリキュラム

S…両コース共通の特別講義。6階大ホールにて行います。
 E…英語で行う講義（逐次通訳がつかます）。
 SE…英語で行う両コース共通の特別講義（逐次通訳が付き、6階大ホールにて行います）。
 Biz…80分授業2コマずつを3回費やして「社内創業ビジネスプラン演習」を行う。演習であるので受講生全員の積極的な参加が必要である。
 無印…コース別に各講義室で日本語で行う講義。

カリキュラムは変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

1限	9:30	—	10:50
2限	11:10	—	12:30
— Lunch Time —			
3限	13:40	—	15:00
4限	15:20	—	16:40
5限	17:00	—	18:20
Party	18:40	—	

Aug.04
(MON)

9:30
|
19:40

1. 「企業改革と新ビジネス創出・発展の知恵」 児玉 充晴 …(S)
 マンネリ化した企業風土からの脱却を目指した、社員の意識改革の上手な進め方と、それに基づく新ビジネスの成功要素を、体系立てて説明し、企業にとってもっとも重要な利益獲得の知恵を総合的に講義する。
 2. 「ゼロエミッション —ごみゼロ社会は実現できるか—」 行本 正雄 …(S)
 地球温暖化と資源枯渇の問題は、将来の我々の生活だけでなく現在の生活に対しても大きな影響を与えつつある。二酸化炭素削減（エネルギー効率の向上）と廃棄物ゼロ（資源の有効利用）を目指す「ゼロエミッション」活動に取り組んできた専門家が日本の現状と将来展望を語る。
- ランチ
- 3.4. 「BizPlan 演習1.社内創業ビジネスプラン演習1」 松下 重恵 …(Biz)
 受講生は各自1頁のビジネスプランを作成して持参し、オリエンテーションの後、全員が口頭で各自2分でビジネスプランの訴求を行う。全員で採点しベスト数点を決定する。その後「社内創業の勧め」の講義。
 5. 「好機の認識、評価、そして企業化の実現：新事業を独立させるには」 Richard Dasher …(S)
 シリコンバレーでは毎日おびただしい数の新規事業のアイデアが生まれ、その内のいくつかは激しい淘汰を経て新産業へと育っている。それらの起業に直接関わった経験から、好機の認識、評価、そして企業化の実現について語る。
- ウェルカム&スタンフォード大学パーティ
 ダッシャー先生を囲んだ、スタンフォード大学同窓会との共同のウェルカムパーティ。受講生同士の親睦を図るだけでなく、スタンフォード大学とのネットワークを作る。

Aug.05
(TUE)

9:30
|
18:20

1. 「治療医学や予防医学に活躍するバイオベンチャー」 馬 濟泰
 治療医学における医薬品開発や予防医学における機能性食品分野における最新の動向と、バイオベンチャーとしての馬研究室が取り組んでいる分野を紹介、バイオ分野新事業における企業・大学の連携を語る。
 2. 「日本企業にも使えるスタンフォードのケーススタディ」 Richard Dasher …(S)
 米国ビジネススクールではケーススタディ（事例研究）を通じて成功・失敗要因を探り、どのような局面にも動じない仮想体験をする。珠玉の例により、日本企業にも使えるスタンフォードのケーススタディを体験する。
- 3.4. 「BizPlan 演習2.社内創業ビジネスプラン演習2」 松下 重恵 …(Biz)
 第1回で行った投票に基づき、数グループに分かれて数点のビジネスプランを練り上げる。発表時間10分の第1回発表会を行い討議、改善。「ビジネスプランのあり方」の講義。この日は放課後も続いてグループ討議を行う。
 5. 「粉末状シリコンICを利用した電子タグ、日立の事業化責任者が市場開拓の勘所を語る」 井村 亮 …(S)
 既存のビジネスモデルを覆し新しいライフスタイルを創造するとまで言われ始めた無線認識IC(RFID)、ユビキタス社会実現に向けた様々な取組みと Entrepreneurship、そして最新の実用例を紹介。

Aug.06
(WED)

9:30
|
18:20

1. 「顧客理解とエレベータ・ピッチ」 Jose Pacheco …(SE)
スタートアップ企業における顧客理解の重要性とその手法。グローバルプレーヤーへの売り込み。自社製品と技術を顧客企業の言葉で納得させる凝縮のプレゼンテーションを学ぶ。
2. 「“ヒーロー” ゴーン≠経営手腕：理論とケース（1）」 辻村 宏和
うまくいったらいったで難しい経営手腕の意外なる本質。
3. 「学ぶべきはヒール（？）家康？：理論とケース（2）」 辻村 宏和
ワンマン経営者に対する誤解。
4. 5. 「BizPlan 演習3.社内創業ビジネスプラン演習3」 松下 重恵 …(Biz)
第2回に行った発表と同じ数点について時間 10 分で再度発表会と討議。全員で採点、投票。
「社内創業の要注意点」の講義。

Aug.07
(THU)

9:30
|
19:30

1. 「中国における技術立脚新興企業の挑戦」 Lin Xu …(SE)
この講義は中国における技術立脚新興企業の挑戦を中心テーマにしている。更に多国籍企業がその技術的優位性を利用して、巨大な中国市場を開拓しようとしているか、また技術蓄積の薄い地元企業がどのようにして対抗しようとしているかを語る。変化の激しい分野に於いて多くの企業がしのぎを削っているこの現状を知ることが中国市場を知る近道である。
 2. 「新事業の成功と全員顧客志向経営」 小野 桂之介 …(S)
新事業を成功させるには、既存の競争相手に対する明確な差別化を実現して顧客に選ばれる魅力を持たなければならない。それには、全部門が差別化戦略を共有し、全員が顧客志向の姿勢で仕事に取り組む必要がある。
 3. 「？つの大学発ベンチャーの起業とその遷移」 梅崎 太造 …(S)
平成元年より音声認識技術を武器に発話訓練機、指紋照合装置、および各種精密検査・計測装置を連携企業と共同で開発・実用化した。これまでの経過の中で、関係企業の業種の多様化に対応するために、現在まで、？つの大学発ベンチャーを起業した。今回は、研究テーマと起業家としての興味がどのように移り変わって来たかについて述べる。
 4. 「法的リスクマネジメントとコンプライアンス経営の確立」 牧野 英克
コーポレートガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンス、内部統制、CSR（企業の社会的責任）などの切り口から、後を絶たない企業不祥事の背景と原因を分析しながら、企業不祥事の再発防止に向けての実務上の取り組みについて検討する。
- VMS & MIT パーティ
VMS 同窓生と MIT 同窓生を招いたオープンパーティ。受講生同士だけでなく国際的なネットワーク作りのチャンス。また受講生が持ち寄り、この講座を通じてブラッシュアップしたビジネスプランを「エレベータピッチ」形式で披露、優秀案件を表彰。

Aug.08
(FRI)

9:30
|
15:15

1. 「ベンチャー経営企業の可能性」 森岡 孝文
長年の金融機関勤務経験から金融機関の行員が、ベンチャー企業をどのように評価し、見ているのかを語る。さらに、ビジネスモデル分析の視点から、新規創業、自社ビジネスの可能性を考察する。
 2. 「技術創業・失敗させない 10 の方策」 小田島 博道
新規技術を基とした創業には、常に数多くの不確実性に直面する。マーケティングにおける着眼点など事業を成功へと導くキーポイントを修得し、次々に発生する問題点に迅速的確に意思決定できる能力を身に付け、芽が出た技術をもとにグローバル・オンリーワンビジネスを育て上げよう。
 3. 「経営と技術の接点 ～無限の好奇心・努力・情熱・友情（ネットワーク）～」 筒井 宣政 …(S)
次女の心臓病を契機に医療の世界に進み、利益追求ではなく「一人でも多くの命を救う」を理念に東海メディカルプロダクツを設立。その経験の中にある経営についてのヒントを見つけて欲しい。
- 修了式